

# 安心と笑顔のために

日本共産党札幌市議団ニュース

No. 308 2023年3月14日

日本共産党札幌市議団 事務局 TEL 211-3221 / fax 218-5124

## 新幹線工事中の事故 市民にきちんと説明を

3月6日 予算特別委員会 まち政・環境局関係 佐々木明美委員

北海道新幹線工事に関して、北海道新幹線札幌トンネル札幌工区の気泡剤を含む泥状の土の漏出事故が発生したことを受け、佐々木市議が質問に立ちました。

佐々木市議は「事故から既に4ヶ月経過していますが、事故の原因などは(市民に)明らかにされていません。」とした上で「鉄道運輸機構からはどのような回答があったのか」と質問。市の担当者は「シールドトンネル施行前から堤防に存在した空洞などを通り、泥土が地表までへ漏出したと考えられると結論付けられた」と地表に湧き出した現象を述べました。本来、工事の影響は地上には現れないと説明していたことから、同市議は重ねて「住民説明会を開いて、事故の報告や状況を伝える必要があると思いますが、住民にはどのように知らせたのか」と質問。市の担当者は「当日に、その概要と初期対応について、翌日には、今後の対応について報道機関に情報提供し、HPでも公表している」と述べましたが、直接当該地区への住民へ説明はしていませんでした。

佐々木市議は「(東京の)外環道の事故では、気泡が地上に湧き出した外環道のシールド工事でNEXCOなど事業者は酸素濃度が低いことを認めて調査を実施しています」とした上で、「本市が市民の生命と安全を守る立場で(工事の)一旦中止を求めるべきです。また住民への説明を行うのは本市の責任ですから、早急な対応を」と求めました。

## 真駒内駅前 市民主体のまちづくりを

3月6日 予算特別委員会 まち政・環境局関係 千葉なおこ委員

2013年に真駒内駅前地区まちづくり指針が策定され、真駒内駅前地区まちづくり計画素案ができました。この間、札幌市は区民への意見聴取や検討委員会などを行い、計画にその内容を盛り込み、平岸通りを迂回させ真駒内駅と駅前外区を直結する案と平岸通り維持の案が計画され、このたび素案では、平岸通りを迂回させ真駒内駅と駅前外区を直結する案で進んでいます。しかし、平岸通り維持の案にも3割の住民が望ましいと回答しています。この問題で、千葉市議は、「今後も住民参加型で進めて機会を捉えて丁寧に進めて進捗状況などを報告し、意見を言う場というのは設けていく必要がある。計画策定後の市民意見聴取や市民の参加についてはどのように取り組むお考えか」と質問。市の担当者は「計画の進捗に合わせてですね、適時皆様に状況をお知らせする。また、その場で、意見をいただける場合も考えて、しっかり対応していきたい」と市民の意見を聞くという姿勢を明らかにしました。

千葉市議は最後に「ぜひ今後も状況を知らせていただきたい。本市が将来的にも責任を持った適切な管理、これができることが望ましい。そしてまち作りは、市民が主体であることを基本とする、市民の参加により行われるものとする、全ての市民はまち作りに参加することができると、こうした札幌市の自治基本条例の基本理念、基本原則に基づいて、長く愛される真駒内駅前の地区のまちづくりにしてほしい」と市に求めました。

このニュースを地域民報への転載や各支部への配布など、積極的に活用してください。